



ちひろのスケッチ紀行

5月14日(土)～7月11日(月)



1-1, キエフ 老人たち 1963年



1-2, 煙突掃除の少年『絵のない絵本』(童心社)より 1966年



1-3, オーデンセ アンデルセンの家 1966年



1-4, 神戸原より田園風景をのぞむ 1950年頃

ちひろが見た旅の風景に会う

絵を描くことの次に旅が好きだと語ったちひろは、心のふるさと・信州をはじめとする国内各地はもちろん、当時はまだ珍しかった旧ソビエト(ロシア)やヨーロッパ各地への海外旅行にも出かけられています。

本展では、旅での見聞が存分に生かされた『絵のない絵本』『あかいふうせん』などの絵本作品のほか、訪れた先の風景や人物のスケッチなどを展示し、ちひろの足跡をたどりながら、旅と絵との関わりに注目します。

展覧会名 ちひろのスケッチ紀行

会期 2016年5月14日(土)～7月11日(月)

○開館時間=9:00～17:00

○休館日=第2・4水曜日

会場 安曇野ちひろ美術館 展示室1

料金 大人800円/高校生以下無料

団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き/障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円

主催 ちひろ美術館



1-5, 花嫁のベールを持つ人魚姫『にんぎょひめ』(偕成社)より 1967年

1-6, アミアン大聖堂のステンドグラス 1966年

『にんぎょひめ』の場面に生かされています



展覧会の見どころ スケッチでたどるちひろの旅の足跡

画家をとして生きる道を模索していた20代から、遺作『赤い蠟燭と人魚』の取材旅行まで、国内外で残された膨大なスケッチより60点余りを年代順に展示し、人生におけるちひろの旅の軌跡をたどります。

ヨーロッパ旅行と絵本の仕事

ちひろの画業のなかで大きな影響を与えたのが、1966年の約1ヵ月におよぶヨーロッパ旅行でした。ちひろはこの旅で100点を超えるスケッチを描き、その後の欧州を舞台とした絵本のなかに生かしています。スケッチとともに『絵のない絵本』『にんぎょひめ』『あかいふうせん』の絵本作品を展示し、この旅がちひろの表現にもたらした成果を浮き彫りにします。

写真やアルバム、日記など豊富な資料を展示

ちひろにとって旅は、日常から解放される、心休まる時間でもありました。旅先で撮影した写真やアルバム、家族にあてた手紙など、旅のようすをいきいきと伝える貴重な資料の数々を展示します。

主な出展作品

キエフ 老人たち 1963年、オーデンセ アンデルセンの家 1966年、『絵のない絵本』(童心社) 1966年、『にんぎょひめ』(偕成社) 1967年、『あかいふうせん』(偕成社) 1968年、『ぼちのきたうみ』(至光社) 1973年、赤い胸あてズボンの少女 1971年 ほか

出展作品数

約90点

関連イベント

●ちひろが愛した安曇野・まつかわ 北アルプスパノラマウォーク

ちひろが松川村の風景を描いたスケッチポイントや村内に点在する神秘的な遺跡などを巡るウォーキングイベントです。松川村の地元ガイドによる案内や美術館スタッフによる解説のほか、りんごジュースのふるまいなどもあります。北アルプス連峰が水田に映り込む8.5kmのウォーキングコースをお楽しみください。

日時：5月28日(土)9:00～13:00

参加費：一人1000円(保険料含む)

定員：100名(要申し込み・5/24メ切 松川村観光協会TEL.0261-62-6930)

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～14:30

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1

料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



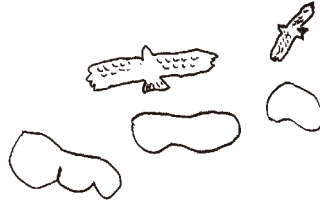
1-7,風船と街へ出るバスカル「あかいふうせん」(偕成社)より1968年



1-8,赤い胸あてズボンの少女1971年



2-1,トラ「飛ぶ教室」表紙(光村図書出版) 2007年



< 企画展 >

あべ弘士の 動物王国展

5月14日(土)～7月11日(月)



いのち 生命はぐるぐるまわっている

“行動展示”*の先駆けとして注目を集める旭山動物園(北海道旭川市)で、飼育員を25年間勤めた異色の経歴を持つ絵本画家・あべ弘士。1998年からは、日本を飛び出し、野生動物を取材するため、アフリカや北極など、世界各国を旅しています。動物と深く関わるなかで、動物本来の姿に接し、いのちの営みを見続けてきた経験が、彼の絵本には生かされています。

本展では、動物園で出会った動物や、大自然のなかに生きる野生動物などをテーマに、ユーモアあふれる描写で、いのちのリアリティを映し出すあべ弘士の世界を紹介します。

*行動展示……動物の特有の“行動”や“生活”を見せる展示



2-2,キタキツネ 2003年

展覧会名 <企画展>あべ弘士の動物王国展

会期 2016年5月14日(土)～7月11日(月)
○開館時間=9:00～17:00 ○休館日=第2・4水曜日

会場 安曇野ちひろ美術館 展示室4

料金 大人800円/高校生以下無料
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き/障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円

主催 ちひろ美術館



2-3、『あらしのよるに』(講談社)より 1994年

展覧会の見どころ 3つのテーマで語る「動物画家 あべ弘士」の魅力

“動物命”と背中に書き込んだように飼育員の仕事に熱中した「旭山動物園」、壮大な大地のなかに、いのちの輪廻を感じた「アフリカ」、氷に囲まれた豊穡な土地とそこに生きる野生動物に感動した「北極」。“動物画家”といわれるあべ弘士を育んだ3つの場所をテーマに、新旧の作品を多数紹介。ユーモアのなかに死生観を映し出す創作の根源に迫ります。

光と色彩のアート「絵本ねぶた」が安曇野で輝く！

迫力あふれる絵が描かれた巨大な灯籠を屋台に乗せて練り歩く、東北地方に伝わる祭り「ねぶた」。あべ弘士が、大胆な筆致と鮮やかな色彩で動物を描いた「絵本ねぶた」を、安曇野の地で輝かせます。



作家プロフィール



あべ弘士

Hiroshi Abe 1948 -

北海道旭川市に生まれる。1972年から25年間、旭山動物園の飼育係として勤務。1981年『旭山動物園日誌』で絵本画家としてデビュー。1995年『あらしのよりに』で講談社出版文化賞絵本賞、1999年『ゴリラにつき』で小学館児童出版文化賞、2000年『ハリネズミのブルブル』シリーズで赤い鳥さし絵賞など受賞多数。

主な出展作品

『旭山動物園日誌』（出版工房ミル）1981年、『あらしのよりに』（講談社）1994年、『ライオンのよいいちにち』（佼成出版社）2001年、『新世界へ』（偕成社）2014年、アフリカの光と風 2009年、ゴリラ 2000年代頃（個人蔵）ほか

出展作品数

約100点

関連イベント

●あべ弘士ワークショップ「キリンをつくろう！」
日時：5月14日（土） 13：30～15：30
主催：松川村図書館、安曇野ちひろ美術館
会場：すずの音ホール（松川村） 対象：小学生
定員：20名 参加費：無料
申し込み：要事前予約（松川村図書館 TEL.0261-62-0450、安曇野ちひろ美術館 HP、TEL.0261-62-0772にて）

●あべ弘士ギャラリートーク
画家が自身の作品について語ります。
日時：5月14日（土） 10：30～
会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4
料金：無料（入館料別）
申し込み：不要（参加自由）

●ギャラリートーク
展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。
日時：毎月第2・4土曜日 14：30～15：00
会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4
料金：無料（入館料別）
申し込み：不要（参加自由）

関連展示

2016年8月11日（木・祝）～11月6日（日） ちひろ美術館・東京 <企画展>あべ弘士の動物王国展

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



2-4, 『ライオンのよいいちにち』（佼成出版社）より 2001年



2-6, ゴリラ 2000年代頃（個人蔵）



2-7, ニホンカワウン 2004年



2-5, 『新世界へ』（偕成社）より 2014年



2-8, 『旭山動物園日誌』（出版工房ミル）より 1981年



3-1

ちひろ美術館コレクション ふしぎな動物たち

5月14日(土)～7月11日(月)

いま、明かされる。あの動物、この動物のひみつ。

ちひろ美術館コレクションには、動物を描いた作品が数多く所蔵されています。動物は、私たち人間に近く、似ているために、国境を越えて画家や作家を魅了し続け、世界のお話や絵本に登場しています。本展では、ちひろ美術館コレクションから選りすぐりの、世界の画家たちが描いた“ふしぎな動物たち”を集めました。画家それぞれが、絵のなかの動物たちに込めたひみつをご紹介します。

展覧会名	ちひろ美術館コレクション ふしぎな動物たち
会期	2016年5月14日(土)～7月11日(月) ○開館時間=9:00～17:00 ○休館日=第2・4水曜日
会場	安曇野ちひろ美術館 展示室3
料金	大人 800円／高校生以下無料 団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円
主催	ちひろ美術館

展覧会の見どころ ふしぎ その① 象の悲しみ

ユゼフ・ヴィルコンは大の動物好き。猫、トラ、鳥、馬……、彼は好んで動物を描いてきました。しかし、この象は他の動物たちとどこか違います。鼻が楽器のチューバのようになっており、ブルースを演奏しています。それも、人間ではなく、象が奏でる曲は、象牙のために殺された仲間たちへの哀歌なのです。

ふしぎ その② 動物と神

山の多い朝鮮半島には、昔から山岳崇拜思想と山神信仰が深く根を下ろしているといわれます。山神堂という韓国の土俗神である山神、すなわち山神霊を祭る所に掲げられた山神図では、虎が山の神あるいは山の神の使者として描かれていました。韓国のパク・ソンワンによる絵は、虎を彼の新たなデザイン感覚でとらえています。

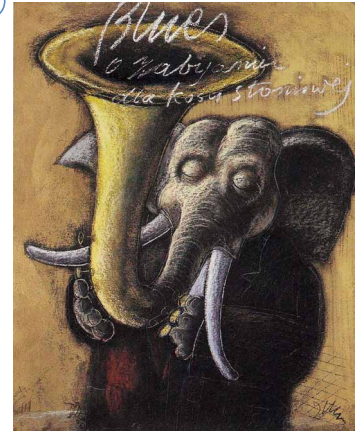
ふしぎ その③ 踊る動物？たち

横一列に10体の不思議な生き物たちが並んでおり、よく見ると、あまりみたことのない姿をしています。踊っているかのようなあやしい手つきをしています。彼らは、人々を悪から守る魔除けの存在です。トルコのジャン・ギョクニルは、バビロニア神話に遡って作品をつくっています。

主な展覧作品 クヴィエタ・パツオウスカー 猫 1979-1985年、パク・ソンワン 山神圖 1996年、ユゼフ・ヴィルコン ブルース・演奏する象 1994年、エフゲーニー・ラチョフ きつねとくろらいちょう 1965年 ほか

展覧作品数 約15点

①

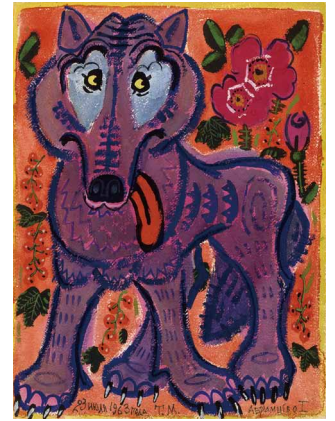


3-2

②



3-3



3-4

③

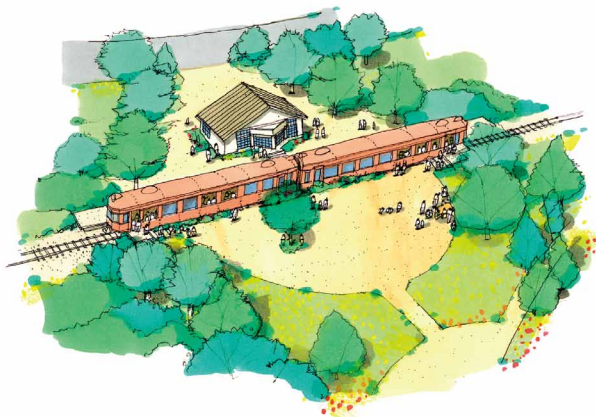


3-5

3-1、クヴィエタ・パツオウスカー 猫 1979-1985年
3-2、ユゼフ・ヴィルコン ブルース・演奏する象 1994年
3-3、パク・ソンワン 山神圖 1996年
3-4、タチャーナ・マーヴリナ「子馬」より 1963年
3-5、ジャン・ギョクニル 病気の魔除け 1997年

7月23日(土)
オープン!

松川村・安曇野ちひろ公園 トットちゃん広場



手を上げる少年と遊ぶ子どもたち 1970年代前半

いよいよ安曇野ちひろ公園のリニューアルオープンが近づいてきました。開園日は7月23日に決定したことが松川村により発表されました。開園日にはトットちゃんこと黒柳徹子(ちひろ美術館館長)もかけつける予定です。開園後には、これまで楽しみに待ってくださったみなさまへ向けたオープンイベントも現在企画中。どうぞご期待ください。

展示関連
イベント
1

あべ弘士によるワークショップ 「キリンをつくろう!」

5月14日(土) 13:30 ~ 15:30

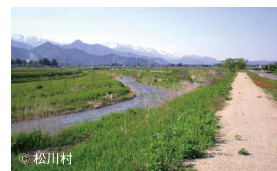
主催：松川村図書館、安曇野ちひろ美術館
会場：すずの音ホール(松川村)
対象：小学生 定員：20名 参加費：無料
申し込み：要事前予約
(松川村図書館 TEL.0261-62-0450、
安曇野ちひろ美術館 HP、TEL.0261-62-0772 にて)

展示関連
イベント
3

ちひろが愛した安曇野・まつかわ 北アルプスパノラマウォーク

5月28日(土) 9:00 ~ 13:00

ちひろが松川村の風景を描いたスケッチポイントや村内に点在する神秘的な遺跡を巡るウォーキングイベントです。松川村の地元ガイドによる案内や美術館スタッフによる解説のほか、りんごジュースのふるまいなどもあります。北アルプス連峰が水田に映り込む8.5kmのウォーキングコースをお楽しみください。



©松川村
参加費：一人1000円(保険料含む)
定員：100名
申し込み：5/24〆切
松川村観光協会
TEL.0261-62-6930

展示関連
イベント
2

あべ弘士ギャラリートーク

5月14日(土) 10:30 ~

画家が自身の作品について語ります。
会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4 参加費：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)



国際博物館の日 5月18日(水)

この日はどなたでも入館無料となります。

入館無料デー

日ごろの感謝を込めて、美術館の近くにお住まいのみなさまが入館無料でお楽しみいただけるご優待日を設けました。お誘いあわせのうえ、ぜひご来館ください。

3月6日(日) 松川村民特別優待デー
3月27日(日) 長野県民入館無料デー
4月10日(日) 池田町・生坂村民入館無料デー
5月8日(日) 安曇野市民入館無料デー

5月22日(日) 大町市民入館無料デー

6月12日(日) 松本市民入館無料デー

6月26日(日) 白馬村・小谷村民入館無料デー

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～ちひろのスケッチ紀行展
14:30～あべ弘士の動物王国展

参加費：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

●おはなしの会

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみください。

日時：毎月第2・4土曜日 11:00 ~ 11:30

会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋

料金：無料(入館料別)

申し込み：不要(参加自由)



撮影：橋本裕貴

次回展示のご案内

7/15(金) ~ 9/27(火)

松川村・安曇野ちひろ公園 トットちゃん広場オープン記念展「みんな、いっしょだよ。」

BIB50周年 ちひろ美術館コレクション 絵本の歴史をつくった画家たち

安曇野ちひろ美術館

http://www.chihiro.jp/

お問い合わせ 安曇野ちひろ美術館 広報担当 奥原・^{くろやなぎ}畔柳・田邊・入口
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24
TEL.0261-62-0772 FAX 0261-62-0774
E-mail:apublicity@chihiro.or.jp